

**「令和6年度農畜産物及び加工食品の移出実態調査結果報告書」**

～道外市場への効率的な輸送方法・流通コスト低減方策を検討する資料として～

北海道開発局では、北海道の農畜産物及び加工食品の道外移出実態を物流面から調査し、道外市場への効率的な輸送方法や流通コスト低減方策などを検討するための基礎資料とすることを目的に「農畜産物及び加工食品の移出実態調査」を実施しております。

このたび、「令和6年度農畜産物及び加工食品の移出実態調査結果報告書（令和5年調査対象）」を取りまとめましたので、お知らせします。

民間団体や行政機関等の皆様におかれましては、業務の参考資料としてご活用ください。

《報告書掲載ページ》

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousa/ud49g70000004d46.html>

調査の目的・方法は「別紙1」を、調査結果の概要は「別紙2」をご参照ください。

また、北海道開発計画調査では、この他にも北海道総合開発計画の推進に必要な調査を行っています。

こちらもホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousa/u23dsn0000001rud.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調査課 課長補佐 堀米 聡（内線 5457）

開発監理部 開発調査課 課 員 山岸 滉（内線 5456）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

## 1. 目的

この調査は、北海道の農畜産物及び加工食品の移出実態を物流面から調査し、道外市場への効率的な輸送方法や流通コストの低減方策などを検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 実施方法

この調査は、北海道開発局（開発監理部開発調査課）から直接農業団体、商系出荷団体及び関係企業に調査票を送付し、所要事項の記入を依頼して回収の後、取りまとめたものである。（137団体・企業へ調査票を送付・依頼し、122団体・企業から回答）

### (1) 調査対象品目

調査対象品目は、次の64品目とした。

#### 1) 農畜産物（53品目）

うるち米、もち米、小麦、大豆、小豆、菜豆、その他豆類、そば、馬鈴しょ、たまねぎ、にんじん、かぼちゃ、だいこん、ながいも、キャベツ、ごぼう、スイートコーン、ねぎ、はくさい、トマト、ミニトマト、アスパラガス、ほうれんそう、ゆりね、レタス、きゅうり、ブロッコリー、ピーマン、メロン、すいか、いちご、かぶ、にら、えだまめ、さやいんげん、小松菜、水菜、セルリー、その他野菜、りんご、ぶどう、なし、さくらんぼ、プルーン、プラム、ブルーベリー、ハスカップ、もも、その他果実、牛肉（枝肉及び部分肉）、豚肉、生乳、花き（切花類）

#### 2) 加工食品（11品目）

濃縮乳、牛乳、れん乳、全脂粉乳、脱脂粉乳、その他粉乳、バター、チーズ、生クリーム、でんぷん、砂糖

### (2) 調査対象期間

令和5年1月から12月まで

### (3) 調査内容

道内及び道外に向けて出荷された農畜産物及び加工食品の月別、輸送機関別、輸送先別、主要用途別、仕向先別の出荷量

## 3. 集計表の見方

### (1) 集計表の見方に当たっての留意事項

- 1) 各項目の数量は、ラウンド等により、計と一致しないものがある。
- 2) うるち米、もち米、小麦、そば、牛肉、豚肉、砂糖については、全道集計のみである。その他の品目は全道集計と振興局別集計の数値を掲載している。
- 3) 提出のあった調査票を基礎とした実態調査であるため、農林水産省の農林水産統計の生産量、出荷量の数値とは一致しない。
- 4) 豆類は、集荷団体が全道規模である場合は、本所のある石狩振興局で集計した。
- 5) 生乳と乳製品は、工場所在地のある各振興局で集計した。
- 6) 渡島総合振興局と檜山振興局は併せて集計し、「渡島・檜山」とした。

集計表の取りまとめに関する一覧表

対象品目	集計表	
	全 道	振興局
うるち米	○	—
もち米	○	—
小 麦	○	—
豆 類	○	○
そ ば	○	—
野 菜 類	○	○
果 実 類	○	○
牛 肉	○	—
豚 肉	○	—
生 乳	○	○
乳 製 品	○	○
でんぷん	○	○
砂 糖	○	—
花 き	○	○

(2) 報告書における対象品目と用語説明

1) 対象品目

区 分	対象品目
穀物類	うるち米、もち米、小麦、大豆、小豆、菜豆、その他豆類、そば
野 菜	馬鈴しょ、たまねぎ、にんじん、かぼちゃ、だいこん、ながいも、キャベツ、ごぼう、スイートコーン、ねぎ、はくさい、トマト、ミニトマト、アスパラガス、ほうれんそう、ゆりね、レタス、きゅうり、ブロッコリー、ピーマン、メロン、すいか、いちご、かぶ、にら、えだまめ、さやいんげん、小松菜、水菜、セルリー、その他野菜
果 実	りんご、ぶどう、なし、さくらんぼ、プルーン、プラム、ブルーベリー、ハスカップ、もも、その他果実
畜 産	牛肉、豚肉
生 乳	生乳
乳製品	濃縮乳、牛乳、れん乳、全脂粉乳、脱脂粉乳、その他粉乳、バター、チーズ、生クリーム
加工品	でんぷん、砂糖
花 き	切花類

2) 輸送機関

J R	幹線が J R による輸送
トラック・フェリー	発地から着地までトラック輸送（海上フェリーを含む。）
内航船	幹線が定期フェリー以外の貨物船またはコンテナ専用船による輸送
航空機	幹線が航空機による輸送

### 3) 輸送先地域区分

区 分	該当都道府県名
北海道	北海道
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北 陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東 海	岐阜、静岡、愛知、三重
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四 国	徳島、香川、愛媛、高知
九 州	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

### 4) 主要用途の区分

生食用	加工用、種子以外の用途で直接消費者・実需者等に生のまま提供されるもの
加工用	ジュース・菓子等の加工原料、惣菜や冷凍食品、業務用食材向けなど
その他	でんぷん原料、種子用、研究用、観賞用（花き）など

### 5) 仕向先の区分

卸売市場	卸売市場法第2条第2項に規定される卸売市場
卸 問 屋	市場外の専門問屋、集配センターなど
小 売 店	スーパーマーケット、デパート、八百屋、牛乳販売店など
加工工場	食品加工の工場、またはそのための貯蔵・保管施設など (でんぷん工場や製粉会社(工場)を含む)
外 食	レストラン、食堂、チェーンなど(病院、学校給食も含む)
そ の 他	通信販売、ゆうパックなどの産直や上記以外のもの

## 1. 全道の令和5年の総括

## (1) 道内・道外移出の割合

道産農畜産物及び加工食品に占める道外への移出割合（重量ベース、花きを除く）は44.6%であり、砂糖は9割以上、小麦は8割以上、豆類、そば、野菜類、牛肉及び乳製品は7割以上が道外へ移出されている。

道内への出荷割合が大きい品目として、生乳及び果実類が9割となっている。

なお、生乳は重量として占める割合が大きく、かつ加工までの鮮度維持の観点から多くが道内の乳業メーカーの工場に移送される。この部分を除くと、道産農畜産物及び加工食品に占める道外への移出割合は77.4%となる。

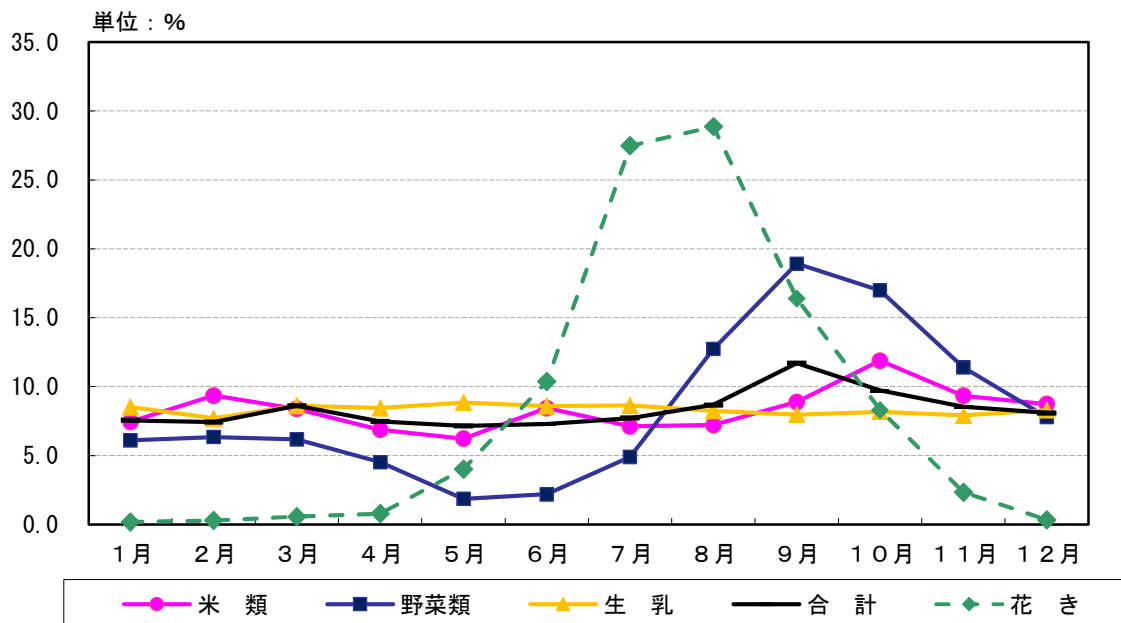
(単位:トン、千本、%)

品目名	出荷先	北海道	道外計	合計
米 類	出荷量(t)	130,985.3	263,054.4	394,039.7
	割合(%)	33.2	66.8	100.0
小 麦	出荷量(t)	99,339.7	541,983.6	641,323.3
	割合(%)	15.5	84.5	100.0
豆 類	出荷量(t)	12,931.3	47,854.2	60,785.5
	割合(%)	21.3	78.7	100.0
そ ば	出荷量(t)	2,092.5	5,270.6	7,363.1
	割合(%)	28.4	71.6	100.0
野菜類	出荷量(t)	353,095.6	956,027.7	1,309,123.3
	割合(%)	27.0	73.0	100.0
果実類	出荷量(t)	2,737.1	185.7	2,922.8
	割合(%)	93.6	6.4	100.0
牛 肉	出荷量(t)	9,486.7	28,536.7	38,023.4
	割合(%)	24.9	75.1	100.0
豚 肉	出荷量(t)	26,648.8	18,544.6	45,193.4
	割合(%)	59.0	41.0	100.0
生 乳	出荷量(t)	3,554,635.2	357,012.9	3,911,648.1
	割合(%)	90.9	9.1	100.0
乳製品	出荷量(t)	201,745.0	717,020.9	918,765.9
	割合(%)	22.0	78.0	100.0
でんぷん	出荷量(t)	62,615.3	125,577.8	188,193.1
	割合(%)	33.3	66.7	100.0
砂 糖	出荷量(t)	53,313.6	566,748.2	620,061.8
	割合(%)	8.6	91.4	100.0
合 計	出荷量(t)	4,509,626.1	3,627,817.3	8,137,443.4
	割合(%)	55.4	44.6	100.0
合 計(生乳を除く)	出荷量(t)	954,990.9	3,270,804.4	4,225,795.3
	割合(%)	22.6	77.4	100.0
花 き (切花類)	出荷量(千本)	14,577.8	54,690.4	69,268.2
	割合(%)	21.0	79.0	100.0
*参考 R4年 (花きを除く)	出荷量(t)	4,723,878.1	3,716,510.5	8,440,388.6
	割合(%)	56.0	44.0	100.0
R5年/R4年(花きを除く)	出荷量割合(%)	95.5	97.6	96.4

※割合は、品目毎の合計に占める北海道及び道外の値を示している。

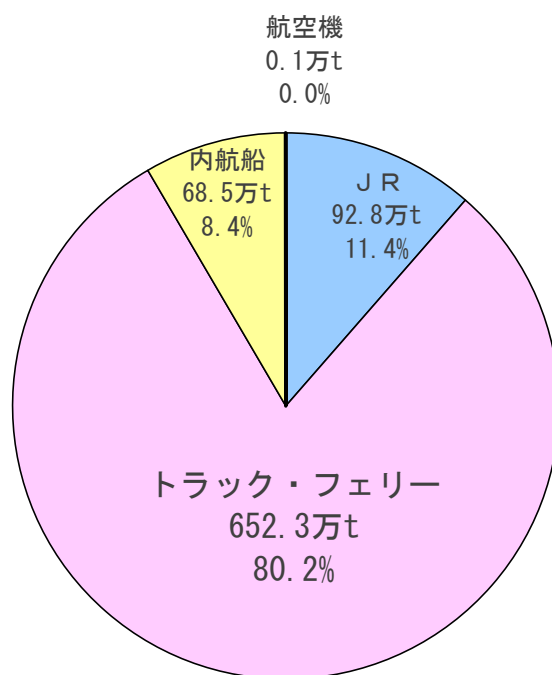
## (2) 月別出荷量

月別出荷量の割合の推移を類別にみると、野菜類は8月から11月に年間出荷量の6割が出荷され、花き（切花類）は7、8月をピークに6月から9月に年間の8割が出荷されている。米類は10月に出荷のピークがあり、それ以外の月は概ね安定している。生乳は一年を通して安定している。



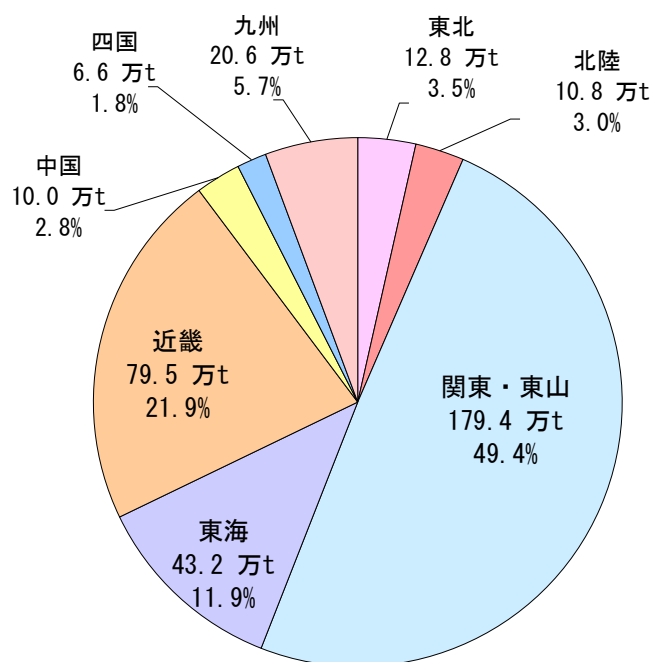
## (3) 輸送機関別出荷量（花きを除く）

輸送機関別出荷量では、トラック・フェリーによる輸送が全体の8割以上を占めており、次いで、JR、内航船の順となっている。航空機による輸送は1%に満たない。



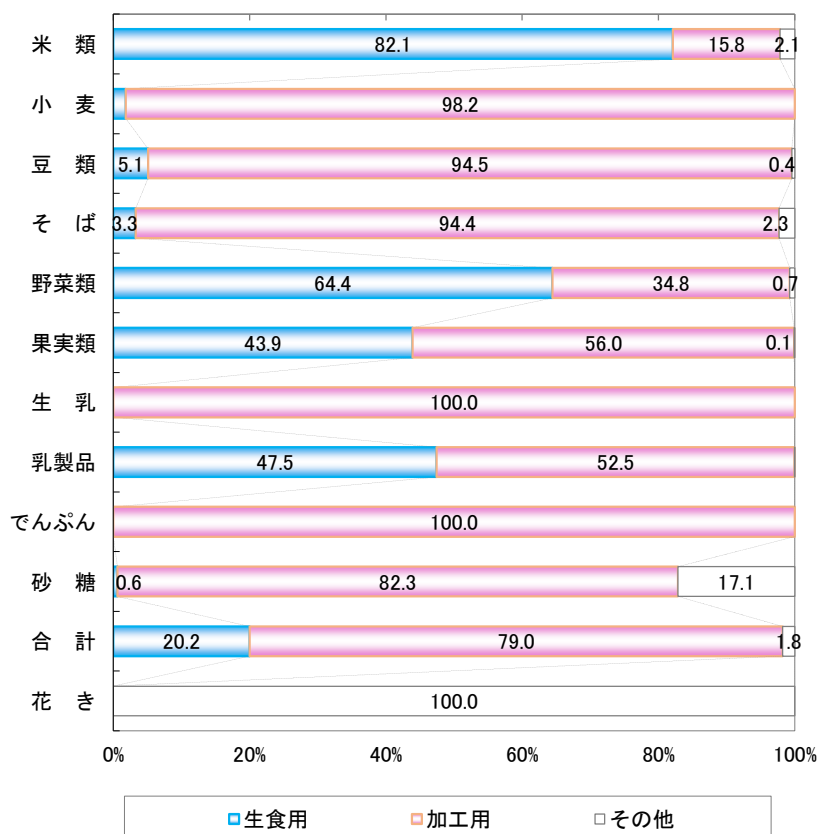
#### (4) 輸送先別出荷量（花きを除く）

道外への輸送先別出荷量は、関東・東山地方への出荷が全体の約5割を占めており、次いで近畿、東海の順に多く、この3地域で出荷量全体の8割以上を占めている。



#### (5) 主要用途別出荷量

主要用途別出荷量は、米類、野菜類、果実類は生食用としての割合が大きい。



### (6) 仕向先別出荷量

仕向先別出荷量は、米類、牛肉は卸問屋向け、小麦、そば、生乳、砂糖は加工工場向け、野菜類、花きは卸売市場向けの出荷が中心となっている。

